

第6回 春日モリモリまつり開催

10月15日(日)「春日モリモリまつり」が、かすがモリモリ村特設会場で開催されました。当日は、天候に恵まれ、秋の味覚をそろえた春日特産物朝市も同時開催されたこともあり朝から多くの家族づれなどにぎわいを見せました。

かすが保育園児・おしま幼児園児の合同鼓笛演奏、健康体操、春日小中学校の児童生徒による発表などが披露されました。また、木こり名人、筋肉番付、よさこい、春日の太鼓踊の郷土芸能などにより会場が盛り上がりました。

最後に幸運の餅まきが行われ多くの方々を楽ししいひと時を過ごされました。

2006瀬音まつり開催

10月15日(日)、2006瀬音まつりが揖斐高原の大自然の中で開催されました。

ステージでは、地元伝統芸能の小津神楽・藤橋権現太鼓、地元幼稚園の鼓笛隊、小・中学生コーラス、よさこい踊りが披露されました。

物産会場では、町内外の特産物が多数販売され大盛況でした。また、ゆうたろうのトークショーでは、ステージから観客席に下りられるハプニングもあり、観客と一体となったステージとなりました。

当日は天候にも恵まれ2千5百人もの来場者の皆さんは、高原で楽しい一日を過ごされました。

「2006瀬音まつり」は、岐阜県イベント振興基金の助成を受けています。



揖斐高原の大自然の中でステージを楽しみました



園児のかわいい鼓笛演奏

第28回岐阜県菊花連盟展揖斐川大会開催

第28回岐阜県菊花連盟展揖斐川大会が11月4日(土)から6日(月)まで、揖斐川町中央公民館で開催されました。県内の菊愛好家が丹精込めて栽培した約650点や町内の4小中学校の児童生徒たちが大切に育てた菊も出展され、その優雅さを競い合い展示されました。

来場者は咲き誇る花々の美しさとその素晴らしさに感動されていました。

ウォーキング大盛況

11月5日(日)朝9時から、「秋の城台山公園と町並みウォーキング」が行われました。

当日は晴天に恵まれ、約300名の参加者でにぎわいました。思い思いにスタートした参加者は歴史民俗資料館、城台山公園(文学の里)、三輪神社を巡り、軸倉(鳳凰軸)の見学、豚汁・甘酒・いび茶のもてなしを受けながら紅葉の始まった木々の中、6・6kmのウォーキングを楽しみました。



秋の揖斐川の町並みを楽しみました



素晴らしい菊が並んでいます

揖斐川町計画審議会が総合計画案を答申

10月16日(月)、揖斐川町第一次総合計画案が揖斐川町計画審議会(樋口直嗣会長)より宗宮町長に答申されました。

この総合計画案は、本年2月24日(金)に同審議会から中間答申された総合計画の基本構想に沿い、「自然と歴史が育む ふれあいと活力のある健康文化都市」を将来像とした、

I人と自然が共生する快適なまち
 II健康で思いやりに満ちた文化の薫るまち
 IIIふれあい豊かな活力に満ちたまち
 IV住民とともに考え、新たな地域づくりを
 実践するまち

の4つを目標に、具体的な施策を盛り込んだ内容となっています。

今後、この総合計画に沿って、住民とともに新しいまちづくりを進めていきます。

八草バイパス開通

11月2日(木)、坂内川上地内で一般国道303号八草バイパス(川上〜八草)の開通式が行われました。開通式には宗宮町長、岩根木之本町長、県議会議員、県、地元関係者など多数参加し、テープカットとくす玉を割り八草バイパスの開通を祝いました。

この道路は、八草峠を貫き、岐阜と滋賀、中部圏と関西・北陸圏を繋ぐ重要な路線となります。このバイパスの開通により安全・快適に通行することができるようになりました。



坂内保育園児もいっしょに開通を祝いました



総合計画案の答申を行う樋口会長

消防訓練会開催

10月29日(日)、揖斐川町消防訓練会が市場グラウンドで開催されました。この大会は、消防団員の厳正な規律の確立を図ることを目的として、各個訓練と舞台訓練を行うものです。

大会では、揖斐川町揖斐川消防団の7つの小隊が日頃の訓練の成果を発揮し、迅速な動きを見せました。

大会の結果は次のとおりです。

- 優勝 揖斐分団
- 準優勝 小島分団
- 三位 大和分団
- 最優秀指揮者賞 小森健司(揖斐)
- 優秀指揮者賞 長柄暁佳(大和)
- 坪井公師(本部)
- 増元 孝(胫永)
- 胫永分団
- 優秀小隊賞

小型動力ポンプ配置

10月10日(火)、役場駐車場で小型動力ポンプ配置式が行われました。

揖斐川町揖斐川消防団(小島分団、胫永分団)、揖斐川町藤橋消防団(第1分団)の計4台の小型動力ポンプが更新されました。

宗宮町長より、2名の消防団長に「引き続きこの最新鋭のポンプを十分活用し、郷土の守りに万全を期すよう」と目録が手渡されました。



配置された小型動力ポンプ



優勝された揖斐分団

伊賀野中中学校の表彰

10月15日(日)、春日川合の小寺隆時さんが、11月1日(水)、胥永の宇佐美まき多さんが95歳の誕生日を迎えられました。

小寺さんは、春日でお茶作りや山仕事をしてきたことで身体が丈夫になったとおっしゃっていました。

宇佐美さんは大変お元気で、当日はご家族、お子さん、ご近所の皆さんが集まり楽しくお祝いをされていました。小寺さん、宇佐美さんには、長寿のお祝いと褒賞金が贈られました。

これからも健康に気をつけ、お元気で過ごしてください。

高科区交通安全推進委員会

10月19日(木)に、揖斐川町谷汲の高科区が、国土交通省中部運輸局 運輸関係功労者及び一般協力者局長表彰式で表彰を受けられました。

高科区は平成元年の樽見鉄道開通以来、沿線の除草や高科駅周辺の清掃作業を行ってこられました。今回これらの活動について中部運輸局表彰を受けられました。

おめでとうございます。



高科区の皆さんおめでとうございます



宇佐美さんおめでとうございます



小寺さんおめでとうございます

伊賀野中中学校の表彰

揖斐川中学校3年の吉野哲史さんが、平成18年度福祉のまちづくりポスターコンクールの中学生の部で最優秀賞を受賞し、10月27日(金)に宗宮町長へ報告に訪れました。

吉野さんは「自分が人に伝えたいことをポスターとして描いたので、自分でも意識し、実践し、それを多くの人に広げたい」と話されました。吉野さんのポスターは、点字ブロックの上転がるあき缶をデザインしたものです。

東海大会出場おめでとうございます

10月11日(水)、揖斐ミニバスケットボール少年団がイチイ杯(東海大会)への出場を決め、宗宮町長へ報告に訪れました。

揖斐ミニバスケットボール少年団は夏の岐阜県大会でブロック1位を収め、今回の大会出場となりました。

リーダーの高橋さんは「力を振り絞って全力で戦うので応援してください」と話されました。大会での健闘をお祈りします。

優勝おめでとうございます

10月27日(金)、岐阜県老人クラブ軽スポーツ西濃ブロック大会が大垣市で開かれ、ゲートボール、ペタンク、グラウンドゴルフに分かれ熱戦が繰り広げられました。そこで、上野寿会さくら(監督・増田善一さん 選手・宮島勲さん、宮島憲雄さん、竹中久和さん)がペタンクの部で優勝を収められました。

おめでとうございます。





川と海のクリーン大作戦

10月22日(日)、揖斐川沿いの河原で川と海のクリーン大作戦が行われました。

当日はボランティア、小中学生、町職員など多くの参加者が集まり、堤防や河川敷に捨てられたり、流れ着いたりしたゴミを拾いました。

この活動は美しく安心して利用できる水辺を受け継ぐために、ゴミを捨てない、捨てさせない心を育むために行われています。

いつまでもきれいな川を保ちましょう。

走れエコパッカー

いびがわみずみずエコステーション主催の「走れエコパッカー事業」の応募作品の審査が行われました。

この事業は揖斐郡内の子どもたちの環境に関する絵を募集し、入選作品をパッカー車(ごみ収集車)の側面に貼り、環境やリサイクルについての関心を高めるものです。

町内の入選者は次のとおりです。

近藤真友さん(大和小)、今村優菜さん(清水小)、清生よう介さん(揖斐小)、杉山明日香さん(揖斐小)、不破礼華さん(長瀬小)、不破聖護さん(長瀬保)



審査の様子



いつまでもきれいな川に

管瀬川で河川調査

10月6日(金)、谷汲中学校1年生が谷汲地区内を流れる管瀬川の河川調査を行いました。当日は、環境省希少野生動物種保存推進員の國枝久夫さん(谷汲岐礼)の指導のもと、川に生息する魚や昆虫を冷たい川に実際に入って全員で採取しました。

採取した魚の説明を聞きながら生徒たちは河川環境保全の大切さと生き物の尊さを改めて学びました。

さざれ石愛護の日 行事が行われました

10月29日(日)に、春日川合(古屋笹又)のさざれ石公園で、さざれ石の保護保存を目的とした「日本さざれ石の会」の行事が行われました。この行事は、昭和53年に10月27日を「さざれ石愛護の日」と定め、その日に近い日曜日に毎年会員が集い、清掃活動などを行っています。

今年も、地元関係者や名古屋市、三河地方などから約80名の方々に参加され、春日小宮神区の会員の皆さんが作られた注連縄しめなわの交換や公園内の清掃、日本さざれ石の会総会を行い今後とも「君が代」の基になった「さざれ石」の愛護に努めることを誓い合いました。



さざれ石の注連縄の交換



どんな生物がいるかな?

ぎふCAP「子どもの暴力予防教室」開催

子どもが虐待や誘拐などの犠牲になる事件が毎日のように報道されています。揖斐川町では、『ぎふCAP』に講師をお願いし、「子どもの暴力予防教室」をやまと幼児園で開催しました。10月10日(火)に保護者に向けて『おとなワークショップ』を、10月23・24・30日に4・5歳児に向けて『子どもワークショップ』を開きました。

「ダメとイヤの違い、親の自己主張、目からうろこでした」「定期的にやってほしい」など保護者の関心の高さを感じました。

「ぎふがむらびこみまじり」開催

10月21日(土) 谷汲サンサンホールで、揖斐川町立幼児園・保育園が参加し「いびがわちびっこまつり」が開催されました。劇団飛行船によるミニ劇場「ヘンゼルとグレーテル」が上演され親子で観劇しました。

開演前には待ちきれずはしゃいでいた子どもたちも劇が始まると、まるで動く絵本、メルヘンの世界へ吸い込まれるように観ていました。親子そろって楽しい時間を過ごすことができました。



郡修 ②
斐 研
育 センター
揖 教
教 セ

先生の研修会

今年の夏休みも郡内の先生方は、研修センターを中心に各会場で自分自身を高めると共に、児童生徒への指導力向上のために各種の研修に汗を流しました。『国際理解講座』(外国人から見た日本と国際社会人)、『環境教育講座』(三輪社周辺の自然観察)、『リズム運動講習会』(児童と共にできる運動)、『福祉教育講座』(心身障害者小規模授産所などの施設見学)、『教育相談研修講座』、『地域研修講座』(徳山ダム見学)、『コンピュータ研修』(エクセル・パワーポイントの活用)、『特別講座』(特別支援教育のあり方)などを開設しましたが、先生方は真剣そのもので、熱心にメモを取ったり質問したりし、終始意欲的な研修姿勢でした。



その中で、『教育相談研修講座』では、臨床心理士の太田先生に、児童生徒への具体的な対応方法や不登校生徒などへの具体的な支援について講話をいただきました。「子どもの見方について新しい視点で見ることができ、とてもよかったです」「具体的な事例から偏った人格構造のタイプの特徴や斯道のあり方の基本姿勢をお話くださり、よくわかりました」「一人一人の子どもへのそれぞれの対応と、子どもへの愛情表現を親と共に伝えることの必要性を改めて感じました」などいろいろ意欲的な感想を聞くことができました。

子どもたちは揖斐の自然と歴史を満喫

ふるさと揖斐への愛着と理解を深めるために春日の森の文化博物館や日坂の高橋邸の見学を中心とした『ふるさと見学会』を行いました。また、自然体験を通して理科好きの子どもを育むために谷汲の昆虫や植物採集を中心に『自然に親しむ会』を実施しました。

